

一般財団法人京都ユースホステル協会

# 2014年度事業計画書（案）

期間：2014. 4. 1 - 2015. 3. 31

一般財団法人京都ユースホステル協会は  
新しい旅と、旅する青少年の健全な成長を応援します。



---

〒616-8191 京都市右京区太秦中山町29 宇多野 YH 内

TEL：075-462-2312 FAX：075-462-2289

<http://www.yh-kyoto.or.jp/> E-mail：kyh@yh-kyoto.or.jp

---



## 目次

はじめに	2
事業方針	2
I. 重点目標	2
II. 実行指針	2
事業活動：ユースホステル活動および関連事業	
I. ユースホステル活動	3
II. ユースホステル関連活動	3
事業活動：指定管理事業	
I. 宇多野ユースホステル	4
II. 天橋立ユースホステル	4
予算	5
組織概要	6

## はじめに

これまで、京都ユースホステル協会では、世界や地域とつながりながら、社会の変化や旅行者のニーズに対応出来る運営モデルの追及と柔軟性で効率的な体制作りに取り組む他、長期的な視点での施設の改修や運営の改善を行ってきました。

また、「ここならではの」、「今ならではの」、「私ならではの」の固有の魅力づくりにも取り組み、利用の促進や拡大を図ってきました。

2014年度は、消費税増税の影響など、いまだ不透明感が残りますが、社会情勢の先行きに少し明るさを感じられるほか、和食のユネスコ無形文化遺産への登録や京都縦貫道の全線開通に合わせた「海の京都構想」の取り組みなどを追い風に、事業を展開してまいります。

ユースホステルの宿泊利用については、外国人や家族、年齢階層等での絞った利用の拡大に取り組んでまいります。

ユースホステル関連事業では、世界的な青少年等の旅行動向を見据えながら、今後の発展が見込まれる分野である「まいまい京都」などに代表される、地域の暮らしや文化に触れることのできる京都ならではの、ユースホステルならではの地域発の事業造成を行ってまいります。

その他、これまでに蓄積してきた運営ノウハウ（仕組み）や人的資源、世界的なネットワークなどを有効活用しながら、若い世代で関心が高まっている海外での生活体験やボランティア活動、体験研修などの受入れや送り出しを更にすすめ、ユースホステルの特色である「経験による教育を可能にする機会や場」の充実にも取り組みますので、より一層のご支援とご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

業務執行理事 高田 光治

## 事業方針

### I. 実行指針

- 1) 世界（海外）と連携
  - ・国際ユースホステル連盟と一体的に動く
- 2) “つなぐ” 役割を担う
  - ・旅人相互をつなぐ
  - ・京都（日本）と旅人をつなぐ
  - ・若者と旅をつなぐ
- 3) 外部機関・団体と連携し事業（イベント）の付加価値を高める
  - ・テーマごとに連携先を定める
  - ・連携する条件や運用指針を書面にて定める

### II. 重点施策

- 1) 指定管理施設（宇多野・天橋立）の継続指定を受ける
- 2) 外国人（宿泊者・旅行者）の拡大を計る
  - a. 国際連盟のグループブッキングシステムにつなぐ
  - b. 英語版 Facebook の運用を試行する
- 3) ユースホステルおよび協会が旅の情報発信機能を持つ
  - a. 旅行者に役立つ情報を収集・提供を行う
  - b. 旅行者に役立つプログラムを収集・提供を行う
  - c. 地域にある団体や機関、個人と旅行者をつなぐ活動を行う

# 事業活動：ユースホステル活動および関連活動

## I. ユースホステル活動

コアコンセプトを「旅を通じて京都と世界を繋ぐ役割を担う」とし、活動を行います。若者たちへは世界に飛び出す為の後押しができるような啓発活動と、京都においては、ユースホステルを通じて旅人同士だけではなく地域や留学生をはじめ、様々な「ひと・もの・こと」との出会いと交流の機会を提供します。昨年同様他団体と連携した運営スタイルを維持し、それらを通じて旅の情報発信センターとしての機能を取り揃えるよう活動します。

### (1) 事業分野別目標

- 各活動の新規プロジェクトを1回以上実施
- イベント参加者数延15,000名（前年度目標12,000名）
- メールマガジン登録者数5,000名（前年度目標5,000名）
- Facebook いいね数（協会・宇多野・天橋立）  
合計1,000いいね（新規目標）

### (2) 活動内容

#### 1) ユースホステル運動普及活動（公益目的事業）

旅に出よう啓発・プロモーション活動を行います。

- 若者を意識した旅啓発事業の実施【新規】
  - ・旅イベントの企画支援／旅に関する関係団体との連携
- 子ども向け事業の継続
  - ・既存事業（ネイチャーキッズ、アスレンドジャー、フレンドステイ等）

#### 2) ユースホステル交流創出活動（公益目的事業）

ユースホステルにて出会いや交流を促進する活動を行います。

- 宿泊者同士や宿泊者と京都に住む方（市民や留学生）が交流する場と機会の提供
  - ・エブリデイワン（宇多野ユースホステル）
- 就労を体験して社会経験と自己研鑽の場の提供
  - ・インターンシップの受け入れ（立命館大学、大学コンソーシアム京都、日独平和フォーラム）
  - ・日本人の青少年を対象とした受入（鳴滝総合支援学校、中学生チャレンジ体験、ヘルパーの受入）
- 市民を対象にユースホステルを知ってもらう機会の提供
  - ・ワールドUTANOマルシェ2014

#### 3) 旅（ホステリング）事業（その他事業）

旅に出てもらおうプログラムの企画・立案・運営を行います。

- まち歩きイベント「まいまい京都」企画運営の支援と連携
  - ・事務局として申込予約や各種問い合わせ、顧客管理を行う。
  - ・より深い本物の京都を知る企画（座学や体験）の試行【新規】
- 日本の若者が海外へ出る企画
  - ・海外ユースホステル（オーストラリア・ドイツ）へのインターンシップツアーの試行【新規】

## II. ユースホステル関連活動

食事を提供する上で最も大切な“食の安心安全”を今年度も引き続き最優先事項とし、日常的な管理・改善・指導の徹底を日々緊張感を持って行います。その上で、アレルギーやベジタリアン、料金アップメニューなどの多様なニーズへの対応や、外国人や宗教的制限のある方にも好まれるメニューの提供、提供数増加につながる工夫の実施などを行い、目標提供数の達成を目指します。

### (1) 事業分野別目標

- 食事提供数：（夕食）19,500食（前年度19,050食）  
（朝食）29,600食（前年度29,690食）
- アンケート満足度評価：4.5以上（前年度4.0以上）  
※5点満点

### (2) 活動内容

#### 1) 衛生面の向上

安心して食事を楽しんでいただくために、衛生面の向上を継続的に行います。

- 全食事提供従事者への指導・教育による衛生面の意識と知識の更なる向上
- 月次ミーティングでの衛生面向上策の検討
- より安全な調理手順や調理方法の遂行

#### 2) 食事環境の整備

食事の評価を大きく左右する接客や雰囲気も向上させます。

- 少人数でも落ち着いて食事をしていただける雰囲気作り
- スタッフの接客スキル向上のための研修の実施

#### 3) ニーズへの対応

新たな国からの宿泊や強化する宿泊層を増やすため、ニーズの把握やニーズに合った食事提供を目指します。

- ムスリムの方へのハラールミールの提供
- 宿泊者等との直接会話や定期的なアンケートによるニーズや期待するサービスの収集、実行

#### 4) 販売促進とロス削減

- 特別食や修学旅行メニューについて、設定原価率の中で満足度の高い内容構成に変更
- 予約時やチェックイン時の積極的な声掛け、販売
- きめ細やかな発注と在庫管理の徹底



## I. 宇多野ユースホステル

2014年度も宇多野ユースホステルに求められている・目指している役割に応えます。宿泊者増を目指す具体的な対象を「外国人」と設定し、その対象に支持されるサービスや取り組みを実行することに注力します。そして、外国人が多く宿泊利用することにより、若い世代にとって滞在中に世界とつながることが魅力のひとつとなることを目指します。また、次期指定管理者選定の年になるため、万全の準備を整えると共に、その先を見据えた取り組みも試行的に行います。

### (1) 事業分野別目標

- 年間宿泊者数 37,000名（前年度36,000名）
- 年間外国人宿泊者数 10,000名（新規目標）

### (2) 活動内容

#### 1) 新たな魅力の確立

インターナショナルな宿泊を楽しめることが魅力の一つとなるよう外国人の宿泊増につながる取り組みを行います。

- 外国人向けサービスや取り組みのアンケート・リサーチ
- 試行的な取り組みへの評価やデータの収集
- 国際ユースホステル連盟のグループブッキングに参加
- 主に東南アジアに対しての営業・広報
- 時代に合ったツールやネットワークを活用した情報発信
- フロントやイベントでの外国人スタッフの積極的活用

#### 2) リピーターの獲得

快適な滞在、フレンドリーな接客、想像以上の体験などにより、リピート宿泊につなげます。

- 本物の京都を感じるイベントや宿泊者と地域の方がつながる場の提供など、プラスアルファの満足度の提供
- 接客スキル向上のためのケーススタディの実施
- 基本となる施設管理・メンテナンスの徹底

#### 3) 地域との協働・連携

地域の活動団体や関係機関、教育機関と相互協力し、地域にも必要とされる施設を目指します。

- 災害などの緊急時の連絡・情報共有と臨機応変な対応
- 周辺の教育機関や海外の国際交流団体等と連携した就労体験や社会体験の機会提供
- 地域活動団体の協力によるイベントの実施

#### 4) 次期指定管理継続に向けた取り組み

引き続き、宇多野ユースホステルの運営を任していただけるように、期待される役割に応えるプランの提案と実行体制の構築を行います。

- ユースホステルの持つ資源や強み、地域の魅力を最大限に活かした提案プランの作成
- 利用料金制を想定した運営体制の見直し、経費の削減、業務の効率化の継続実施
- 集客につながるキャンペーンの試行的実施

## II. 天橋立ユースホステル

京都縦貫道的全線開通に向けて取り組む「海の京都」構想において天橋立地域が掲げるマスタープラン、「海渡る参道・天橋立『聖地としての品格と情緒を感じさせるまちづくり』」に合わせ、歴史的景観にマッチしたユースホステルの整備改修計画の作成に取り組みます。また、地域が取り組む滞在促進事業等と連携し、地域固有の資源を生かした滞在プランの開拓や提供、魅力的な情報発信を促進し、地域と共存したユースホステル運営を目指します。

### (1) 事業分野別目標

- 年間宿泊者数 3,600名（前年度3,300名）
- 年間外国人宿泊者数 550名（前年度480名）
- 歴史的景観にマッチした整備改修計画の提案（新規目標）

### (2) 活動内容

#### 1) 魅力ある施設整備や運営

地域の歴史的景観にマッチした整備改修や滞在プラン等の充実、安心安全を含む運営の質の向上に取り組みます。

- 専門機関と連携し歴史的景観に合った修繕整備計画の提案
- 地域の団体や施設、観光協会等と連携した魅力ある滞在や体験、交流の機会や多様な宿泊プランの提供
- 安心安全の意識やスキルのアップ、運営の質の向上を図る
- 地域の魅力的な食材の利用や効率的な調達による

#### 2) 地域や国内外との連携強化と情報発信や役割の充実

「海の京都」構想や府中観光案内所整備、宮津マルシェなどと連携した地域の魅力作りや情報発信、施設整備を図ります。

- 地域の個人や団体との連携により、にぎわい作りや交流を深める「市」等のイベント開催や地域情報の発信強化
- 海外からの受入れ研修生による学校交流の実施や地域の外国語案内充実への協力
- 地域情報や体験をユースホステルネットワークにて発信
- 防災計画にある大規模災害時避難施設として耐震診断を要望

#### 3) 外国人旅行者の誘致や受入れ環境の整備・充実

天橋立への外客誘致、受入れ環境の整備、内容充実を図ります。

- 天橋立駅観光案内所や府中観光案内所での情報案内の強化
- 国内ゲートウェイホステルや京阪神や首都圏のゲストハウスへの案内協力の依頼
- 食事対応の改善や充実
- ピップアップサービス等の案内の強化
- 海外向け情報サイトや予約サイトの写真や案内情報の充実

#### 4) 次期指定管理継続に向けた取り組み

指定管理者応募に向けた課題の整理ならびに提案プランの作成を行います。

- 天橋立ユースホステルの将来像を設計する
- 変化に対応した魅力的な事業や運営モデルの検討、整理と指定管理継続応募の計画作成

## I. 概要

### (1) 予算概況

13年度は、機動的組織へ全事業的な体制の組み換えを行った結果、経費削減がすすみ、決算見込みは、9,953,000円となります。

2014年度は、組み換えの中で出た歪を解消しつつ、新しい対象の獲得を目指した事業（イベント）を実施することにより、前年度よりも経常増減額（経常利益）は若干減少するものの7,579,000円を予定しています。

### (2) 公益目的財産額について

公益目的財産額（移行前の法人が税制上の優遇などにより法人内部に留保した財産）は、13年度決算見込みを49,885,495円になる予定です。

14年度も引き続き京都府に提出しております、公益目的支出計画に基づき、公益目的事業を実施します。公益目的支出計画とは、公益目的財産額を0円するための計画であり、当協会は2019年度末にこの計画は完了する予定です。

## II. 経営実績の推移

	10年度	11年度	12年度	13年度見込	14年度予算
経常収益（売上）	192,221,000	194,148,834	191,064,528	185,247,000	192,215,000
ユースホステル活動及び関連事業	64,854,000	62,046,127	58,797,653	57,422,000	59,562,000
指定管理業務	123,512,963	128,861,273	129,336,641	125,475,000	131,000,000
組織運営業務	3,853,991	3,241,434	2,930,234	2,350,000	1,653,000
経常費用（費用）	187,190,717	194,728,874	186,139,959	175,294,000	184,636,000
ユースホステル活動及び関連事業	58,457,852	60,911,996	55,982,511	51,909,000	50,580,000
指定管理業務	122,360,726	127,583,524	124,453,614	119,602,000	130,593,000
組織運営業務	6,372,139	6,233,354	5,703,834	3,783,000	3,463,000
当期経常増減額（経常利益）	5,029,893	▲580,040	4,924,569	9,953,000	7,579,000
経常外増減額（経常外利益）	0	▲16,925,000	0		
当期正味財産増減額（純利益）	5,029,893	▲17,505,040	4,924,569	9,953,000	7,579,000
次期正味財産期末残高	66,965,903	49,460,863	54,385,432	64,338,000	71,917,000

※指定管理事業に09、10年度は百井青少年村とつどいの広場、11年度はつどいの広場が含まれています。

※11年度は、法人移行のため、中間期での監査は行っておりません。

したがって、移行時に行った決算（4-7月期）の実績での表記となっております。

#### 【内公益目的事業】

	12年度	13年度見込	14年度予算
公益目的財産額（期首）	56,453,806	47,651,495	49,885,495
公益目的収支額	7,226,330	▲2,234,000	※7,424,000
公益目的財産額（期末）	47,651,495	49,885,495	42,461,495

※13年度公益目的収支差額は、京都府へ提出した公益目的支出計画に基づいた金額で記載しています。

## (2)2014年度予算書

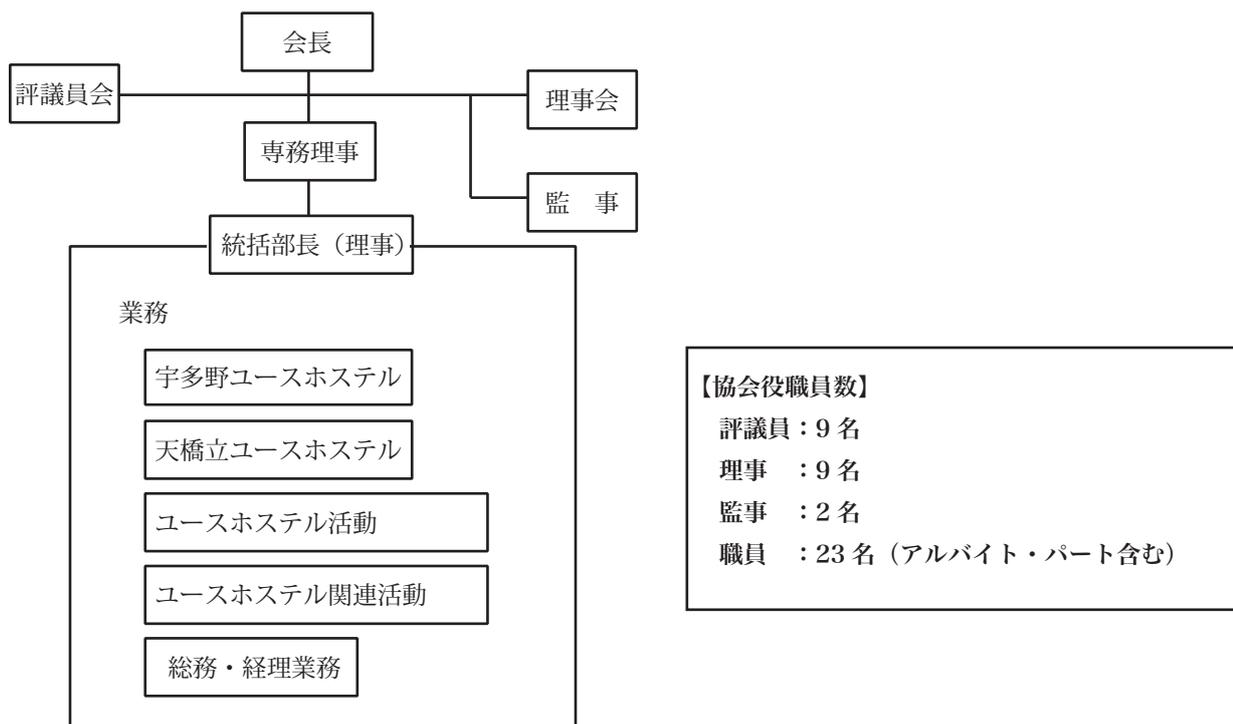
※「2014年度予算書」は別紙あり。

# 組織概要

## I. 組織

業務の実体に応じ、担当をこえた機動的連携で仕事に取り組む機動的組織を継続します。

## II. 組織図



【協会名】	一般財団法人 京都ユースホステル協会
【代表者の役職氏名】	会長 堀場 厚
【財団設立】	1968年2月12日 ※2011年8月1日 (一般財団法人への移行登記)
【協会所在地】	京都市右京区太秦中山町29 宇多野ユースホステル内
【電話番号】	075-462-2312 (代表)